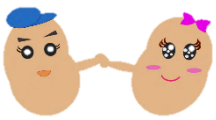


うらそえ腎腎プロジェクト NEWSLETTER

vol.1（平成 30 年 10 月発行）

■協力医として１８人の医師が登録

浦添市 CKD・糖尿病性腎症重症化予防連携事業として通称「うらそえ腎腎プロジェクト」が平成 30 年４月よりスタートしました。かかりつけ医と腎臓診療医の連携により、CKD や糖尿病の重症化を予防し、新規透析者数を減らすことをねらいとして始まったものです。

このような取組みは、熊本市など、県内では那覇市やうるま市・沖縄市で同様に取り組まれており、全国に先駆けて取り組んだ熊本市では新規透析者数が減少するなどの効果が出ています。

９月末現在、浦添市内の医療機関から 18 人の先生方に協力医として登録していただいております。登録していただいた先生方ありがとうございました。今後も、新規登録のための説明会を開催していきます。日程の詳細はニュースレターの後半をご覧ください。

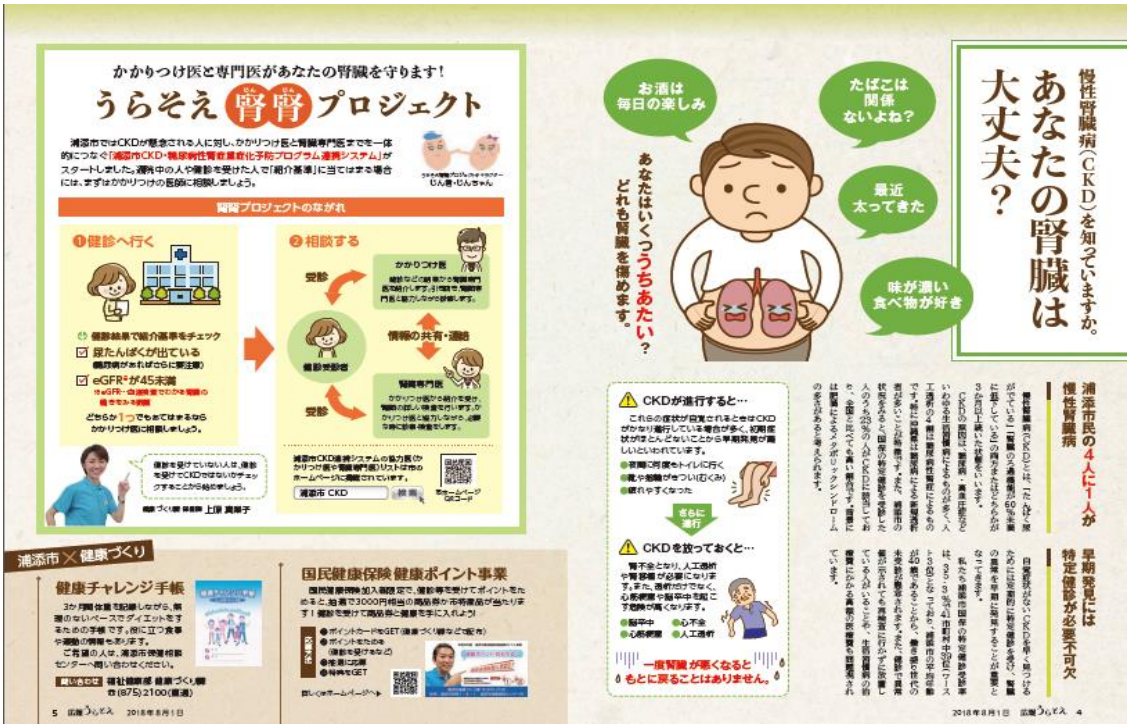
■広報うらそえ 8 月号特集記事に CKD が取り上げられました

広報を読んだ市民の方からの声

広報をみて自分の健診結果が気になりました。

腎臓が悪くて通院中だけど、食事はどんなふうに気を付けたらいいですか？

今の治療がこれでよいのか他の先生の意見を聞きたい。



広報うらそえ８月号より

対談 医者×患者

自覚症状が出てからでは手遅れ。特定健診には必ず行くこと。

みやざと内科クリニック 院長 宮里 昌 さん

(一社)沖縄県腎臓病協議会 副会長 宮城 輝 さん

早期発見、早期治療が一番。健診で異常があったらすぐに病院へ。

痛みもかゆみもないから自分は大丈夫だと思っていた

宮里　宮城さんは幸いにも腎移植を受けられて、透析を離脱されたとお聞きしました。透析になるまでの間はどのような生活をしていましたか？

宮城　仕事に追われる毎日で、接待を言い訳に、食べすぎ、飲みすぎ、体重も気にせずという生活をしていました。職場での健診は毎年受けてはいたのですが、受けっぱなしで結果には無関心でした。

宮里　検査結果に異常はあったのですか？

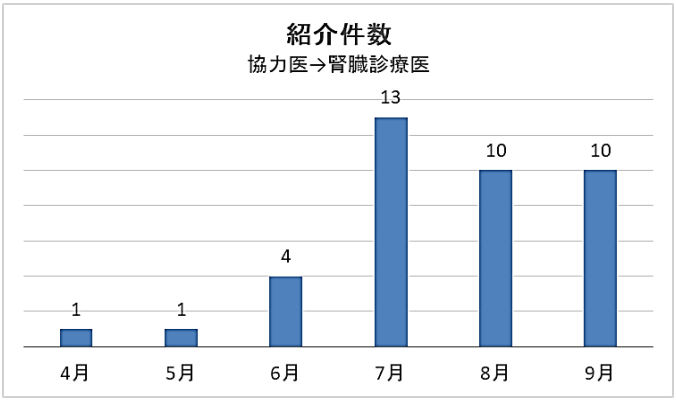
宮城　高血圧とたんぱく尿が少し出ていましたが、症状もないので病院には行かずに今までと変わらない生活を続けていました。そんな生活が数年続いた後、夜中に急にけいれんをおこしてしまって、もうパニックですよ。病院に行くと、腎不全ですぐに透析の話に。高血圧からくる腎硬化症が原因と言われました。

宮里　透析の大きな原因が高血圧と糖尿病です。腎機能は一度悪くなってしまうと残念ながら元には戻りません。維持をするのがやっとです。宮城さんの場合は、もっと早く血圧がコントロールされていれば、透析は防げたかもしれませんね。

透析を始めると生活が一変精神的なショックも大きかった

宮城　透析は週3日通院して、1回4時間かかります。そうしないと生命が維持でき

■紹介件数



協力医から腎臓診療医への紹介件数は、平成 30 年４月から９月までに 39 件ありました。腎臓診療医から FAX で報告を受けた件数を集計しています。

まだ始まったばかりですので、今後紹介件数が増えることを期待しています。

■紹介基準

かかりつけ医から腎臓診療医への紹介基準は、次の通りです。基準に該当する場合は、患者様の意向を確認の上、腎臓診療医へご紹介ください。

eGFR値による紹介基準		*eGFR値＝ml/min/1.73㎡
①	40歳未満	eGFR 60未満
②	40歳以上	eGFR 45未満
③	3ヶ月以内に、30%以上のeGFRの低下	
蛋白尿による紹介基準		
④	尿蛋白2＋以上、または尿蛋白/尿Cr比0.5以上	
⑤	蛋白尿と血尿がともに陽性（1＋以上）	
⑥	糖尿病がある場合は蛋白尿1＋以上	

■今後のスケジュール

登録説明会「糖尿病に関わる医師と医療スタッフのための研修会」において開催
平成 30 年 11 月 15 日（木）19 時～　浦添市産業支援センター結の街　３F 大研修室
平成 31 年 2 月予定
（詳細は日程が近づきましたら市や医師会のホームページでお知らせします）

【発行】浦添市健康づくり課　TEL 875-2100